

<協和界面科学株式会社>



～企業紹介～



「界面科学と創造力で人と地球を豊かにする」

創業 70 余年の歴史と接触角計や表面張力計の高度な技術と実績で、界面科学機器の国内トップシェアを占めています。社員が働きやすい環境を整えており、「プラチナくるみん」「多様な働き方実践企業」に認定されています。 従業員 77 名。本社は新座市。

～インタビュー～

外国人社員（ネパール出身）、2021 年入社 of BHANDARI NELISHA（バンダリ ネリサ）さん。

ー入社のかっけは？

GGG の就職面接会に参加を申し込み後、出展企業を調べ協和界面科学株式会社に興味を持ちました。当日面談を行い、後日企業を見学し、説明通り雰囲気良く長く勤められそうだったので志望しました。



ー現在の仕事内容は？

技術部受託測定課に所属し、お客様からお預かりする資料の分析、報告を行っています。また SNS プロジェクトメンバーにも入っていて、SNS の発信についてアイデアを出し合っています。

ー仕事の満足度は？

会社のフォローアップ体制も充実していますし、雰囲気がいいので質問もしやすくとても働きやすいです。測定ごとに新しい発見があり毎日チャレンジ精神を持って取り組んでいます。もっと知識を身につけたいです。

ー将来の目標は？

4 か国語を話すことができるので、海外営業の仕事で語学力を生かして貢献できたらと考えています。自分の知識を生かし、更にスキルアップしていきたいと思います。ネパールには友達に会いに帰りたいですが、日本にずっと住んでいきたいと思っています。

⇒後輩へのメッセージ

チャレンジしたほうがいいと思います。日本語の勉強は N1 があつたほうがいいですが、現場で困るようなら自分の日本語能力に力を入れてください。N1 のための勉強ではなく実際の生活と今後の仕事での話をするために勉強したほうがいいです。

～GGG インタビュアーから～

難しい分析の内容もインタビュアーに分かりやすく説明してくれ日本語力の高さに驚きました。ご本人が何度も口にした通り、社内の雰囲気の良さをインタビュー中にも感じられました。来年は後輩の留学生も入社する予定なので、先輩として更なる活躍を期待しています。